

情報処理技術者試験に合格した県立高校生に図書カードを贈呈！

2月28日(木)、三重県コンピュータ業協同組合(小柴眞治理事長)は、IT(情報技術)分野の人材育成として、コンピュータ業界の未来を担う高校生のうち、経済産業省が認定する、国家試験の情報処理技術者試験のスキルレベル2以上(基本情報技術者試験、応用情報技術者試験等)に合格し、県立高等学校を平成31年3月に卒業する生徒42名に、図書カードを贈呈しました。

今回は、三重県立亀山高等学校に小柴理事長(株式会社三重電子計算センター 代表取締役社長)が訪問し、上野修弘校長に目録を、8名の代表生徒に図書カードを手渡しました。小柴理事長は、「IT業界において現役で働く人にとっても難しい試験に合格したことは、皆さんの努力のたまもの。今後、社会に出てITに関わる部門で活躍して欲しい。今後、三重県コンピュータ業協同組合としても僅かですが支援させていただきます。」とエールを送りました。



上野修弘校長(左)に目録を手渡す小柴理事長

「スーパーカーフェスティバルin愛宕」を開催

4月7日(日)、松阪市愛宕町商店街振興組合(安田芳史理事長)は、世界の名車と一緒に集まる「スーパーカーフェスティバル」を開催しました。

今回、県内外のスーパーカーの所有者でつくる「イーゴス」の協力を得て、松阪市愛宕町商店街で初めて開催され、世界に80台しかないランボルギーニ「ディアブロGT」をはじめ、名車55台が、愛宕町商店街の本通り200メートルに並びました。

会場は、愛宕の飲食店(20店)が出店し、ステージでは市内のダンスチームやバンドが会場を盛り上げ、親子連れなど5千人が来場し賑わいました。



「三重・しょうゆ街道」を開催



三重県醤油味噌工業協同組合(三林憲忠理事長)は、4月12・13・14日の3日間、イオンモール津南店・東員店の2店同時で「三重・しょうゆ街道」を開催しました。

この企画は県内に多数ある街道沿いの醤油醸造家を紹介し、地場の食文化と醤油醸造家のしょうゆとのつながりを紹介していこうというもので、平成25年4月の開催から18回目の開催となります。醤油蔵18社が自慢の約60種類のしょうゆの味比べ、試食・販売を行い、三重のしょうゆの魅力を伝えるとともに、組合員各社の商品アピールを行いました。